




平成29年度 第1回美しい宮崎づくり大賞 選考委員会 選考結果

	団体の名称	受賞のポイント	取組状況写真	
美しい宮崎づくり大賞	坂元棚田保存会	<ul style="list-style-type: none"> 坂元棚田は、昭和初期の耕地整理事業により牛馬耕の導入を目的として開墾されたもので、明治から昭和初期の耕地整理に対する考え方が強く反映されたものであるが、こうした歴史的価値を損なうことなく現在まで守り続けている。 坂元棚田保存会では、代々引き継いできた棚田を守りながら、棚田オーナー制度による都市農村交流や棚田・集落・山林景観の保全活動、地域資源の活用等にも取り組んでいる。 棚田オーナーが参加する田植えや、稲刈り、作業等には子ども達も参加しており、将来を担う子ども達の景観保全に対する意識の醸成にもつながっている。 宮崎大学と連携した米品質向上に関する調査にも協力。こうした活動を通じて、地域と大学生との交流にもつながっている。 林業と棚田での営農により保たれてきた景観は、平成25年10月に「酒谷の坂元棚田及び農山村景観」として国の重要文化的景観に選定されるなど、全国的にも高く評価されている。 		
	推薦者(他薦の場合)			日南市(生涯学習課)
	活動開始時期			平成18年3月
	活動場所			坂元棚田
	受賞歴			平成29年度 第13回石井進記念棚田学会賞
水と緑の景観賞	きゃべつ畑のひまわり祭り (染ヶ岡地区環境保全協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年に発生した口蹄疫により、高鍋町だけでなく宮崎県全体が深い悲しみに包まれる中、地元の農家が少しでも元気になってもらいたい、笑顔になってもらいたいとの思いからひまわりの植栽を開始したものであるが、その取組は、染ヶ岡地区の農家のみならず、宮崎県民にも口蹄疫からの復興に向けた気運を高めた。 今年で8回目を迎えた「キャベツ畑のひまわり祭り」は、行政主体で始まった復興イベントではなく、地元の農家から始まったイベントで、現在は、農商工官が連携したイベントに発展するなど、地域の活性化にも大きく貢献している。 		
	推薦者(他薦の場合)			高鍋町(産業振興課)
	活動開始時期			平成22年7月
	活動場所			染ヶ岡台地
	受賞歴			平成26年度 農林水産祭り 「内閣総理大臣賞(むらづくり部門)」
まちなみ景観賞	宮崎空港ビル(株)	<ul style="list-style-type: none"> 初代社長、岩切章太郎の南国リゾート宮崎の空の玄関口にふさわしい花と緑に溢れた空港を目指すという想いを受け継ぎ、平成11年より当社職員が自社ハウスで育てたブーゲンビリアのプレゼント抽選会を開始。今年で19回を数え、今までに6,000鉢以上を配布。 同社のこうした取組により、大淀河畔をはじめ街中や家並みにも多くのブーゲンビリアが見かけるようになった。 平成23年に設立された「宮崎空港線修景美化推進協議会」、平成25年に設立された「花ボラネット宮崎」では、いずれも同社の社長が会長となり、地域の皆様と共に、宮崎空港周辺や宮崎市内の美化活動を目的とした「花のまちづくり」にも取り組んでいる。 平成26年には空港の愛称を「宮崎ブーゲンビリア空港」と命名。平成27年には、宮崎県との連携により「みやざきブーゲンビリア植栽プロジェクト」と立ち上げ、行政や航空会社の方々と共に県内各市町村にブーゲンビリアの植栽を行っている。 		
	推薦者(他薦の場合)			—
	活動開始時期			
	活動場所			宮崎空港周辺
	受賞歴			平成23年度 木材利用推進中央協議会会長賞 (手荷物検査場) 平成27年度宮崎市景観賞受賞 (ビル正面のモニュメント) 平成28年度全国花のまちづくりコンクール 国土交通大臣賞(花いっぱい活動)
未来につながる景観賞	桑野内地区道路整備促進協力会	<ul style="list-style-type: none"> 昭和47年に設立以来、現在に至るまで沿線約25キロの草刈清掃を行っている。 平成元年からは地区の全約200世帯の大人から子どもまでが参加して年2回大掛かりな美化活動を展開している。 沿線の「五ヶ瀬ファイナリー」が立地しているほか、また沿道からは阿蘇の中岳や根子岳を含む阿蘇外輪山を一望できることから、訪れる観光客が目にする風景に花を添えるというおもてなしの心で、県道竹田五ヶ瀬線の道路改良の進捗にあわせて、桜やあじさいなどの植栽に取り組んでおり、これらの植栽の維持管理も実施している。 県道竹田五ヶ瀬線の桑野内区間だけでなく、県道土生高千穂線や町道岩神西線も一体的に地域全体として環境美化に努めている。 		
	推薦者(他薦の場合)			五ヶ瀬町(建設課)
	活動開始時期			平成元年4月
	活動場所			五ヶ瀬町桑野内
	受賞歴			平成23年度 日本道路協会 道路功労者表彰受賞

平成29年度 第1回美しい宮崎づくり大賞 選考委員会 選考結果

団体の名称		受賞のポイント	取組状況写真	
奨励賞	日本一の干し大根と大根やぐら日本農業遺産推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 日本一の干し大根の生産量を誇り、その干し大根を干すための大根やぐらは、宮崎平野の冬の風物詩となっているが、近年農業情勢は厳しく、冬期の重労働である干し大根の生産は高齢化による担い手不足等、深刻な状況となっている。 こうした中、干し大根の主産地となる旧田野町と旧清武町の農家が連携し、冬期限定の日本一の干し大根と大根やぐらをシンボルにして、日本農業遺産の認定を目指す取り組みを行っており、今後の進展が大いに期待される。 		
	推薦者(他薦の場合)			—
	活動開始時期			平成26年1月
	活動場所			宮崎市(宮崎市田野町・宮崎市清武町)
	受賞歴			—
特別賞	フローラルレディース	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年に発足し、延岡市のボランティアによる緑化美化運動の先駆けとして、市内一円の緑化美化運動に取り組み、20年以上に渡って熱心に活動を行っている。 こうした活動が徐々に拡がり、今では、市内に100以上のボランティア団体が生まれ、市内の緑化に取り組んでいる。 緑と花をふやすと共に人々に憩いの場を提供し合わせて人と人との輪を広げていくことを目的として、延岡植物園「英国式庭園」の維持管理や、会員による園芸教室の開催・延岡植物園緑の相談員として園芸相談業務、各種イベントへの参加協力等に取り組んでいる。 		
	推薦者(他薦の場合)			延岡市(都市計画課)
	活動開始時期			平成7年2月
	活動場所			延岡植物園
	受賞歴			平成15年 全国花いっぱいコンクール 中央審査 農林水産大臣賞 平成27年 第26回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞
特別賞	(一社)宮崎県造園緑地協会(緑化啓発事業)	<ul style="list-style-type: none"> 日本一早い花の祭典、フラワーフェスタ宮崎及びプロ野球キャンプに合わせ、平成9年から20年にも渡って、国道220号線の沿道に約1kmに菜の花を植栽し県内外のお客様にいち早く宮崎の春をお届けしている。 また、夏には、ひまわり、秋にはコスモスを植栽しており、行政が実施している沿道修景美化の取組と相まって、県内外から宮崎を訪れた方の思い出となる風景として大きな感動を呼んでいる。 		
	推薦者(他薦の場合)			—
	活動開始時期			平成9年
	活動場所			国道220号線
	受賞歴			—